

花一会図書館便り

【TEL&FAX】

0136-57-6085



花一会 HP

2・3月号 花一会図書館 作成/令和8年3月16日発行



Facebook



Instagram



X(旧 Twitter)

第22回

「郷土探索への道 歴史検索・探索編⑦」

冬季オリンピックで活躍した蘭越町出身の選手



2月6日から22日まで、第25回オリンピック冬季競技大会がイタリア北部の都市ミラノとコルティナ・ダンペッツォで開催されました。8競技116種目が実施され、冬季競技のアスリートたちが熱戦を繰り広げ、日本人選手も大活躍しました。

今から半世紀以上前ですが、冬季オリンピックにアルペンスキー選手として出場した蘭越町出身のアスリートがいたことをご存じでしょうか。

1964年第9回冬季オリンピックインスブルック大会と1968年第10回冬季オリンピックグルノーブル大会に2大会連続出場した昆布町出身の福原吉春選手と蘭越町出身の気田義也選手です。この史実が『新蘭越町史』に記載されていますのでご紹介します。

福原吉春と気田義也、2人の軌跡を詳しく記述した資料も所蔵しています。

『二人のオリンピック 福原吉春 気田義也』今野順哉 著(らんこし作家デビュー・プロジェクト/2014)



『ニセコパウダーヒストリー ちらふスキー場発達史刊行委員会編(実業之日本社/2011)』



グルノーブル大会と札幌大会

冬季オリンピック第十回グルノーブル大会は、昭和四三年二月六日、グルノーブル(フランス)で開催した。略
福原と気田にとっては二度目のオリンピック大会であったが、世界の壁は厚く福原が回転で五〇位、滑降で五四位になっただけで終わった。略

福原吉春と気田義也

この大会にアルペン競技の選手として、蘭越町出身の福原吉春(明大)と気田義也(早大)とが出場した。福原は、桂中学校、俱知安農業高校を経て明治大学に進み、気田は、蘭越中学校、俱知安高校を経て早稲田大学に在学していた。二月二日に行われた大回転では、福原二五位、気田三九位となり、七日に行われた男子回転予選を通過した二人は、翌八日の競技にのぞんで、福原二三位、気田三五位と健闘した。男子滑降は福原四五位であった。

インスブルック大会
冬季オリンピック第九回インスブルック大会は、昭和三十九年一月二九日、インスブルック(オーストリア)において開催された。略

《予告》 蘭越のお宝、発見！？



旧公民館に保管してあった資料の中から、貴重な資料を発見！蘭越町にまつわるものもいくつかありました。この詳細は、次号以降の「郷土探索への道」でご紹介する予定です。お楽しみに！

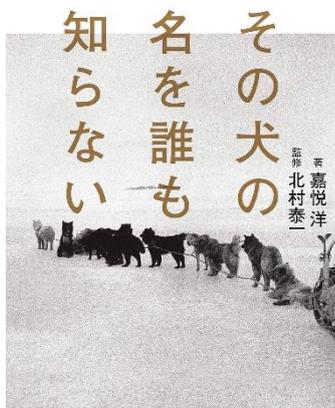
今月のおすすめ本 コーナー



『ドッグスレッド①～⑦』

野田サトル 著（集英社）

アイヌの少女をヒロインとして明治期の金塊争奪戦を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』の著者が次の題材に選んだのは「アイスホッケー」。苫小牧の高校生たちがインターハイ王座奪還のために奮闘する日々をコミカルかつリアルに描いた。氷上の格闘技と言われるアイスホッケーだが、その試合は正に迫力満点。現実で見るとそのスピード感に圧倒されるが、そこはマンガならではの技術。細かいテクニックやルールなどの描写がイラストで丁寧に表現されていて、アイスホッケー初心者にも分かりやすい。そして何とんでも出てくるキャラクターみんなが魅力的！北海道はアイスホッケーが盛んな地域。2月の冬季オリンピックで注目された女子アイスホッケー選手の何名かは、苫小牧のチームから選出されていました。



『その犬の名を誰も知らない』

嘉悦洋 著、北村泰一 監修（小学館集英社プロダクション）

テレビで見て、この本を花一会さんに取り寄せていただきました。とても感銘を受けました。タロとジロという名は耳にしたことがありましたが、カラフト犬というものがどんな犬なのか、そもそも何のため、犬を南極にまで連れて行くのかもよく知らなかったのです。読み進むうちに“この私が”涙、なみだで、久し振りに心が洗われた気分です。いくら任務のためとはいえ、首輪をきつく締め、ワイヤーロープで固定して去るなんて、と始めは思いましたが、その裏にはどのような意味があったのか、13匹を想う時やはり胸が熱くなります。その犬の名は……リキです。良い本に出逢えました。滅多に泣かない私は、口のきけないものには弱いです。犬とか猫とか植物とか…変ですね！

（蘭越町 西村）